

ファイナルレポート

国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市

2024 年 7 月 8 日～10 日

中国・上海新国際見本市会場

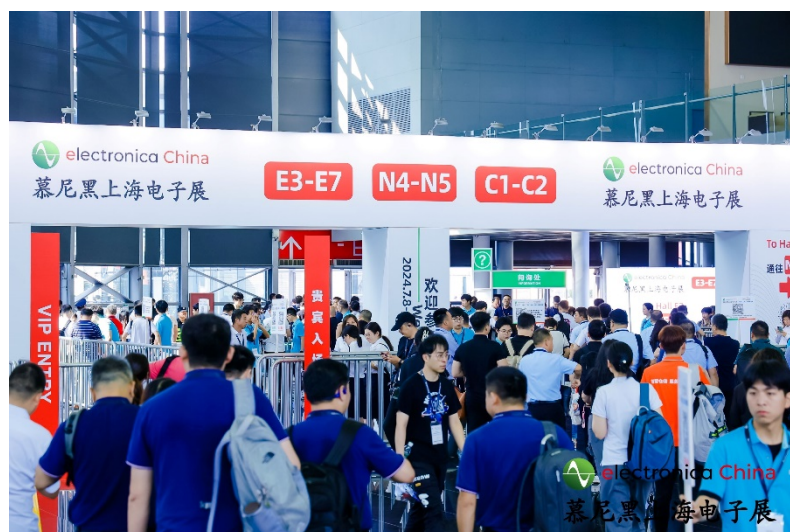
2024 年 7 月 10 日

確固たる協同で成功に導かれた electronica China 2024

Summary

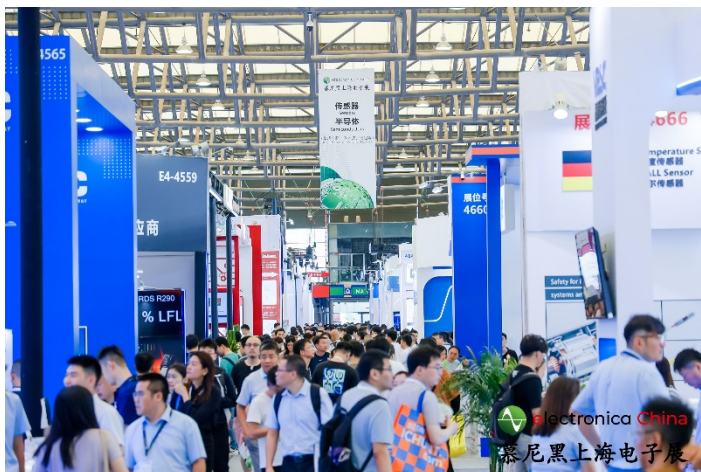
- 出展者 1,671 社、来場者 75,423 人が一堂に会する
- 展示規模は 100,000 平方メートルに達する
- 13 の専門フォーラムに多くの著名な専門家が参加

Facts & Data



会 期	2024 年 7 月 8 日(月)～10 日(水) 9 時～17 時(最終日のみ 16 時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	100,000 m ² (2023 年:100,000 m ²)
出 展 企 業	1,671 社 (2023 年:1,650 社)
来 場 者 総 数	75,423 人 (2023 年:110,642 人)
主な出展品と 出 展 技 術	<electronica China> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッド・システム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ
出展日本企業 (現法出展など含む)	NKK スイッチズ(株)、オムロン(株)、加賀電子(株)、兼松ケミカル(株)、(株)キーエンス、菊水電子工業(株)、京セラ(株)、ケル(株)、サンエツ金属(株)、吹田電気(株)、進工業(株)、住友電装(株)、第一精工(株)、(株)大真空、太陽誘電(株)、TDK(株)、ニチコン(株)、日清紡マイクロデバイス(株)、日本高純度化学(株)、(株)日本抵抗器製作所、ヌヴオトン テクノロジージャパン(株)、パナソニック インダストリー(株)、(株)原田伸銅所、ヒロセ電機(株)、富士端子工業(株)、(株)村田製作所 ほか(50 音順)
専 用 U R L	www.electronica-china.com (英語)

この7月、electronica China は上海で大盛況のうちに閉幕した。今年は10万平方メートルという広大な会場に1,671社が出展した。3日間にわたって、75,423人の業界関係者が来場し、エレクトロニクス分野におけるイノベーションの活気ある交流が図られた。出展各社の製品や技術は業界のトレンドに対応し、その時代のトレンドに乗った新しい展示エリアやプレゼンテーション形式が取り入れられている。会場の賑わいは、エレクトロニクス業界の将来に対する継続的な明るい見通しを反映し、このイベントに対する一貫した熱意と新たな関心の高さを示している。



メッセ・ミュンヘンのCEOラインハルト・ファイファーは、「electronica China 2024にご参加いただいた全てのエレクトロニクス業界関係の皆様に、メッセ・ミュンヘンを代表して感謝申し上げます」と述べ、「electronica China は、アジアにおけるエレクトロニクス業界の革新と成長を牽引する極めて重要なイベントであり、世界的に優良な企業や専門性の高い来場者の参加が一層増加している。毎年、このような壮大な光景を目の当たりにすることができて嬉しく思う。出展者、来場者、メディアパートナー、そして、ゲストの皆様からいただいたこの見本市への揺るぎない支援に感謝いたします」と、謝意を示した。

主要技術パビリオンがアップグレードされ、エレクトロニクス産業の舞台が整う

今年の見本市は、半導体、組み込みシステム、ディスプレイ、センサー技術、試験・測定、電子設計/電子設計の自動化(ED/EDA)、受動部品、コネクタースイッチ、電源装置、PCB、EMS、カー・エレクトロニクス、テストングなど、エレクトロニクス産業のチェーン全体をカバーしている。

見本市では、新エネルギー自動車、インテリジェント・ドライブ、エネルギー貯蔵、ロボット工学、ウェアラブル、スマートビルディング、エッジインテリジェンス、スマート電源、第3世代半導体といったトレンドアプリケーションに重点が置かれた。また、エレクトロニクスのバリューチェーン全体にわたる専門技術パビリオンを設置し、上流から下流の領域にわたって製品設計から実用的な応用までの全てを紹介する包括的なプラットフォームを確立した。

メッセ・ミュンヘン上海社長のEvan Shaは、「electronica Chinaには非常に多くの来場者が訪れ、そして、この見本市がバリューチェーンの様々な分野にわたる開発トレンドや実用的なアプリケーションを紹介する素晴らしいプラットフォームを提供することができて大変嬉しく思う。この見本市は、出展者と来場者との間にコミュニケーションの架け橋を築き、多くの参加者が、自らが目的とする業界リソースとつながる機会を創り出し、更に、中国のエレクトロニクス産業の発展にも貢献している」と述べた。

Rosenberger Asia Pacific Electronic社CEOのOlaf Scale氏は、「今年のelectronica Chinaは、来場者数、出展社数ともに増加し、非常に良い成果も得られて満足している。私たちは、ハイエンドで広く認知されている見本市electronica Chinaに、これからも積極的に参加していきたい」と語る。

インテリジェント・アップグレードは新エネルギー車開発の主要なテーマ

新エネルギー車にとって、インテリジェントなアップグレードが開発の基調となっている。インテリジェント・ドライビング、インテリジェント・コックピット、インテリジェント・ゲートウェイといった機能が続々と登場し、コンピューティング能力に対する要求も多様化している。さらに、センサー、カメラ、レーダー、制御チップ、通信技術など、あらゆる技術の絶え間ない改良に伴って、自動車のインテリジェント機能の開発と革新の余地が一層広がっている。

electronica China 2024では、「International Automotive Electronics Conference」、

「2024 New Energy Vehicles Three Electric Technology Summit Forum」、「8th Automotive Wiring Harness System Innovative Technology Forum 2024」、「International Connector Innovation Forum」など、いくつかの関連フォーラムが開催された。



ここには、Shenzhen Automotive Electronics Industry Association の技術展示グループからも多数の出展者が参加している。これらのフォーラムでは、自動車用電子機器と電気自動車の両方の視点から、自動車インテリジェンスの今後の道筋に関する洞察が提供され、新エネルギー自動車業界の動向と発展に関する詳細な見通しが示された。

Infineon Technologies 社のシニア・マーケティングマネージャー Chengjun Zhou 氏は、「今年は昨年に比べて出展者が多く、同業界各社の熱意も非常に高いと実感する。

electronica China では、展示会に留まらず、関連フォーラムやインタビューも開催され、業界における electronica China の影響力は一層高まっている。我々は、見本市への支援と参加を増やしていく考えである」と述べた。

カーボンニュートラルはエレクトロニクス産業発展の核心

窒化ガリウム(GaN)や炭化ケイ素(SiC)などの材料に代表される第3世代半導体の開発は、中国の「デュアル・カーボン」目標の実現や、高度にインテリジェントでデジタル化された電化社会の実現に極めて重要な役割を果たしている。新エネルギー自動車、太陽光発電、エネルギー貯蔵の急速な発展は、高出力シナリオにおける第3世代半導体の応用に道を開き、また、第3世代半導体に新たなプラットフォームをもたらした。

今年の見本市では、「2024 Innovation Forum on the Advanced Power Semiconductors Technology and Industry Chain」、「2024 Innovation Forum on Energy Storage Technology」、「Wide-Bandgap Forum 2024」、「International Motor Drive and Control Technology Forum 2024」など、いくつかのフォーラムが開催された。これらのイベントでは、カーボンニュートラルに向けた長い開発の道のりが包括的に紹介されている。

Hestia Power International Pte 社のセールス・マーケティング担当ディレクター Kai Niu 氏は、「今年の electronica China は炎天下のごとく熱く、サプライヤーは川上から川下まで皆々熱意が高い。この見本市を通して新たなビジネスチャンスを見つけたいと思う。エレクトロニクス業界にとって、electronica China はベンチマークになる。我々は electronica China と連携を深め、このプラットフォームを活用して当社のブランドと製品を宣伝し、より多くの顧客のニーズに応えていきたい」と語る。

暮らしを変える最先端技術「人工知能」を紹介

最近、ウェアラブルの新製品が次々と登場している。Galaxy Ring や OnePlus Watch 2、そして、新発売の Vision Pro は健康機能を必須アイテムとした。生成 AI の織り込みが加速し、スマートウェアラブル市場に新たな活力をもたらしている。

electronica China 2024 では、「International Embedded System Innovation Forum」、「Industrial Internet of Things (IoT): Leading the Future – AIoT Innovation Application Forum」、「2024 Computing Power Technology Ecology Conference」、「International Medical Electronics Innovation Forum」、「2024 Forum on the Development of Intelligent Manufacturing Industry」など、いくつかの関連フォーラムが開催され、人工知能の多面的な発展について深い議論が交わされた。

Analog Devices 社のマーケティング・マネージャー Zhen Zhu 氏は、「来場者と出展者の数は、現在の electronica China がいかに高く評価されているかを物語っている。electronica China の規模、レベル、来場者の関心度は大幅に向上した。今後も electronica China に協力していきたい」と述べている。

オンラインとオフラインのデュアル体験ができる特別視聴イベントとライブ放送

今年も、「Xin Master」、「elecfans」、「yesky.com」などのメディアパートナーと連携して、テーマ別の1対1ライブ放送ルームやツアーライブ・ストリーミング活動を展開している。これらの取り組みには、厳選された優良出展企業への詳細なインタビューが含まれており、業界の動向やビジネス的観点から見たこれらの企業の現在の発展状況に関する見識が示されており、エレクトロニクス業界の関係者にとっては、この分野と関連企業を理解するための新たなチャネルとなろう。

Qorvo社のシニア・セールス・マネージャー Steve Si氏は、「今年のelectronica Chinaは、例年に比べて規模が大きく、国外からの出展も多かった。そして、この見本市で、国内の新興半導体メーカーが紹介する新世代製品を数多く目にした。electronica Chinaが提供するプラットフォームは我々にとって非常に魅力的であり、次回の見本市で、皆さんと再会できることを楽しみにしている」と述べている。

業界のエキスパートが13件の最先端技術フォーラムで新潮流を解説

electronica China 2024は、業界のリーダー、トップ企業の代表者、研究機関や大学の専門家を招いて、電気自動車、自動車用電子機器、第3世代半導体、組み込みシステム、人工知能とコンピューティングパワー、産業用IoT、エネルギー貯蔵、スマート製造、医療用電子機器、コネクタ、自動車用ワイヤーハーネス、モータードライブなど、注目のアプリケーション市場と急成長分野の最新動向に関する洞察を提供し、実績も共有した。さらに、エレクトロニクス業界、応用分野、研究機関のリーダー、技術専門家、学識経験者が解決策を提示し、生産事例を共有し、先進的な技術ソリューションについて議論するとともに、参加者に今後の業界動向に関する知見を提供した。

Silergy社のMCUマーケティング・マネージャー Hongjun Wu氏は、「electronica Chinaは非常によく組織されており、見本市に参加している当該顧客をうまく紹介している。electronica Chinaはコミュニケーションを促進する優れたプラットフォームだと考えており、来年も引き続きこの見本市を支援していきたい」と述べた。



次回のelectronica Chinaは、来年、2025年4月15日から17日まで、上海新国際見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.electronica-china.com（英語）

資料請求、各種お問合せ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアズアーク虎ノ門5階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語）